

人と緑の共生する都市を めざして

—— 笑顔あふれる「ふれあい」と「にぎわい」のまち・富里 ——

21世紀はこころの時代であるといわれています。

物のゆたかさを追及するより、人や自然とふれあいながら、自分らしい生き方をしていくことに本当のゆたかさを感じる人が増えています。

こうした中で、これからは、住み、働き、学び、憩うなど、日々の生活を通じて一人ひとりがいきいきと自己実現を遂げ、暮らしのゆたかさを実感できるような地域社会をつくることが求められています。

暮らしのゆたかさを広げるためには、単に利便性を高めるだけでなく、まちの個性と魅力を育てることが大切です。

わたしたちのまち富里は、これまで緑ゆたかな住宅地、都心近郊の農業地として発展してきました。不断のまちづくりを通じて、北総台地のゆたかな緑、みずみずしい農の恵み、四季折々の祭り、温かい人情など、富里の魅力はまちの誇るべき資産として引き継がれてきました。

富里は、こうした固有の自然や歴史、文化など、富里の風土を大切に守り育てることを通じて、富里をこよなく愛し、誇りを感じることができるようなまちづくりを進めていきます。

こうしてまちへの愛着と誇りを高めることは、ともに富里に暮らすという絆で結ばれた住民相互のふれあいを広げていきます。

富里に暮らす人や富里を訪れる人がともにいきいきと活動し、富里で過ごす喜びの笑顔を広げることによって、まちのにぎわいを高めていきます。

これからの富里は、こうしたふれあいとにぎわいのまちづくりを住民の理解と参画のもとに進め、一人ひとりの笑顔が輝くまちを築きます。

人

富里に暮らす住民だけでなく、富里で活動するすべての活動主体

緑

単に草木だけにとどまらず、農地、牧場など富里の有する自然や、そこで繰り広げられてきた富里の生活、文化、歴史など

共生

「人」と「緑」が単に一緒に存在しているというだけでなく、自然摂理に基づく秩序と調和を保ちつつ、互いを尊重しながら個性を高めていくこと

主要課題

ライフサイクルに応じた定住の促進

一体感のある都市らしさの形成

地域資源を活かした魅力の創出

1 人と文化を誇れるまちを創るために

2 安心していきいきと暮らすために

3 まちの活力と自立性を高めるために

4 安全で快適な環境を守るために

5 一体感ある都市づくりを支えるために

6 住民と行政が協働するしくみを築くために

富里定住促進プラン

一体感ある都市形成プラン

魅力と活力創出プラン